

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 1月 26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471700322		
法人名	社会福祉法人 敬羨会		
事業所名	グループホーム さつき		
所在地	広島県府中市木野山町箱田奥前1537-1 (電話) 0847-68-2432		
自己評価作成日	2010年4月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3471700322&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	2010年11月30日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

看取りを安心して任されるグループホーム。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホームさつき（以下、ホーム）は緑に囲まれ空気は澄み、とても清々しい環境の中にあります。 ケアは利用者本位でゆっくりとした笑顔での対応を心がけておられます。 看取り介護も家族、主治医と共に協議しながら対応されています。医療面でも主治医の週1回の往診など連携をとり、早期発見、早期治療をめざしておられます。 「自分の家族に入ってもらいたいようなサービス提供を！」と職員全員で取り組んでおられます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	社会福祉法人 敬義会の理念に添ってグループホームさつき独自の理念を作っています。朝礼時に職員一同復唱しています。	ホーム独自の理念として、「一人ひとりが主役であることを認識したサービス提供」「その人らしい生活の実現に向けての取り組み」「常に笑顔で接する」「利用者がすやかに過ごされる為の健康管理」を掲げ、毎日朝礼時に職員全員で復唱しております。また、月間目標として「心配り」「目配り」「心配り」を提示され確認をされています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	併設施設の行事に参加して地域の方との交流に努めています。	2か月に1回程度、併設施設で開催される、地域の自治会、女性会との交流に参加することで、地域とのつながりを持っておられます。また、事業所にも毎月1回音楽ボランティアの訪問があり、楽しく交流をされています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	在宅介護支援センターと連携を取り地域の高齢者などの暮らしに役立つような事がないか話し合いを持つようにしています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を通して利用者の状況、行事計画などを報告しています。また自己評価・外部評価の資料を回覧できるように玄関先に配置しています。	運営推進会議のメンバーは、民生委員の家族、管理者です。事業所の状況、地域の状況などの情報交換をして意見を聞いておられます。地理的な面から2か月に1回の開催が難しく、現状では3か月に1回開催となっています。	市職員の参加を要請していますが出席されていません。認知高齢者に関する課題や、道路整備など環境整備に関する課題もあり市職員が出席されるよう期待します。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	府中市の担当者の方と交流する機会を持つようにしています。	管理者は府中市認知症にやさしい地域づくり推進協議会のメンバーとして会議に出席、活発に発言され積極的な連携をとっておられます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	勉強会を通じて学ぶようにしています。	玄関の鍵は夜間は施錠されますが、昼間は掛けないケアをされています。気分転換のため外に出られる利用者がいますが、センサーですぐ把握できるシステムとなっています。また、今までに身体拘束の必要な利用者はいませんが、職員は勉強会にて身体拘束をしないケアを学んでおられます。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	高齢者虐待防止法関連法について勉強会を通じて学ぶようにしています。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	個々の必要性を関係者と話し合い、必要な方へは、活用して頂けるようにしています。また勉強会を実施していき、職員一同が学べるようにしています。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約書を説明して、ご家族様に納得して頂けるように、十分に説明を行い、理解・納得していただけるように努めています。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	ご意見・苦情箱を玄関先に設置しています。	家族の面会時の会話の中から意見、希望を聞いておられます。その意見は職員全員に伝達、検討され共有されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日、ミーティングを実施して職員の意見や提案を聞く機会を設けています。</p>	<p>毎朝、昨晚の申し送り事項などを行うミーティングの中で、職員からの意見を提案してもらい、検討しておられます。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>社会福祉法人 敬義会のDO-CAPシートにて、各自が向上心を持って働けるように努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人外の研修には、職員順次受講出来るようにしています。また事業所内外で、行なわれる勉強会に参加しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>管理者が中心となり、地域の同業者と交流する機会を持つように努めています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人様より、ゆっくりと話を聴く機会を設けながら、ご本人様を受け止めるように心がけています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご契約時又面会時に時間を取り、不安な事ご家族が望んでいる事を聴く機会を作るようにしています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の要望をまず聴き必要に応じて他のサービス利用も含めた対応に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員と利用者が一緒にゆったりと過ごす環境を作り、介護というよりも、寄り添う介護を目指しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の一員として、一緒に考え、悩み、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築くようにしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族のご協力を得ながら、利用者様の生活習慣を聴き、今までの生活に近い環境を提供できるように努めています。</p>	<p>外泊を月1回実施できるよう努め、家族との絆を大切にされています。そのために、送迎時などに家族に対して利用者の日常生活、ケアのポイントのアドバイスなどを伝達、支援されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の関係を大切にゆき、又個々の生活パターンを理解しながら、一つの家族として楽しく生活できるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用時に培われた関係を大切にしていきながら、相談・支援に応じるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望、意向の把握に努めながら、困難な場合には、ご家族様の情報も得ながら本人の視点に立ち、ケアをしていくように心がけています。	利用者の表情やひとり言、一言などを大切に把握され、一人ひとりの思いや希望を踏まえたケアができるよう全職員で検討され、統一した対応を心がけておられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	安心して生活できる環境を提供していく為これまでの生活パターンやサービス利用の経過などの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者様お一人お一人が出来事を見つけて機能維持に努めるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人様また家族の方より、話をお伺いながらそれぞれの意見を反映した介護計画を作成するように心がけています。</p>	<p>家族の訪問、面会、通院時等、さまざまな機会をとらえて利用者、家族の意向を聞いておられます。モニタリングは毎月行われています。計画作成担当者は状況を総合的に見て、定期または随時に介護計画を作成されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々のケアの実践などを個別記録に記入し、介護計画の見直しやモニタリング時に参考にしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様又はご家族の方の要望に応じて、柔軟に対応できるように心がけています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>月に一度のボランティアにより、音楽療法に取り組んでいます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人様また家族の方の希望を大切に、かかりつけ医に適切な医療を受けられるように努めています。</p>	<p>通院は基本的には家族に依頼し、依頼があれば有料で職員での通院支援をしておられます。また、主治医の週1回の往診、歯科医も要望すれば往診可能であるなど、適切な医療を受けられるよう支援されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	看護職員による日常の健康管理を心がけています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	ご家族様のご協力の本、早期に退院できるように病院関係者との情報交換に努めるように心がけています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	ご本人様またご家族の方の気持ちを尊重し、事業所として出来ることを考えていきかけりつけ医と相談しながら支援していくようにしています。	関係者で協議をされ、対応されています。昨年は2人の看取りについて対応されています。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時マニュアルに添って、対応できるように努めています。また日々の業務の中、看護職員から緊急時の対応を聞くようにしています。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	消防計画にそって安全に避難できるように、努めています。山間部に位置しているため、併設の施設に応援体制を頼んでいます。	消防訓練は年2回開催されています。地域の集落と離れているため連携が難しく、併設施設との応援体制を図られています。また、23年3月までにはスプリンクラー設置の予定です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様一人一人のプライバシーを大切にしながら、記録等の個人情報も大切に扱うように心がけています。	職員研修により言葉かけなど、一人ひとりのプライバシーを大切にされるよう学ばれ、入室の際は必ずノックされるなどの配慮をされています。また、記録物の保管場所にも配慮されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自分で決められることは、決めていただき難しいことなどは、ご家族様に相談するようにしています。また、言葉だけではなく、表情から得られる情報を大切にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人のペースを大切にしながら、日々の生活を楽しみあるものにするように努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の希望時には、ご家族様の協力を得ながら行きつけの美容院に行ける様に努めています。また美容院の方に来苑して頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事が楽しむ時間になるように、音楽など利用しています。また食事の片付けなどの手伝いをお願いしています。	食事の時間が楽しい時間となるようバックミュージックをかけて、落ち着いた雰囲気です。介護度の高い利用者も多く、配膳の手伝いは難しいですが、テーブルやお盆を拭く手伝いをする利用者がおられます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>利用者様、一人一人に応じた食事形態をとり、水分摂取量などを記録して調整に努めています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを実施しています。又必要に応じて入れ歯の口臭予防に薬剤を使用しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定時のトイレ誘導又、本人の訴え時や表情などを観察してトイレ誘導に努めています。</p>	<p>利用者の状況によりパターン化されたトイレ誘導表を作成し、定期的な誘導と利用者の表情などの観察とが行われています。記録は1日ごとに作成され、自立に向けた支援に取り組んでおられます。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェックを行い、また便秘予防に努め適度な運動を促すようにしています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者一人一人ゆっくりと午後より入浴して頂けるように配慮しています。またリラックスしていただける時間にする為、本人のペースを大切にしています。</p>	<p>基本的には午後入浴となっています。希望があれば夕食後の入浴も可能です。冬場は足湯も対応しておられます。お風呂は毎日沸かされ、希望があれば毎日入浴することも可能です。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人一人の睡眠パターンを把握していくようにしています。また安心して睡眠出来る環境を提供できるように努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員一人一人が、薬の目的や副作用など理解して、利用者様の状態変化の確認に努めるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の出来ることを引き出し、役割を持っていただくように支援しています。〔洗濯量・トレイを拭いて頂く等〕		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご本人様の希望時には、戸外に出られるようにしています。	散歩は利用者の希望や状況を見ながら行われています。要介護度の高い利用者も調子がよい時には声かけをして車椅子での散歩もされています。天気の良い日には状況を見ながら、全員でのドライブにも取り組んでおられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を持つことにより利用者様が安心される場合には小額をご本人管理にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話口に出でのコミュニケーションを支援しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間には、季節の花などを飾ったり食事作り、おやつ作りの写真を飾って、心がなごむような雰囲気を作るようにしています。	廊下には利用者と職員全員で製作した、今年の大作としての桜の貼り絵、誕生ケーキを前にした満面の笑みの利用者の写真、とても上手な書などが掲示してあります。また、ホームは、木造の平屋の建物で昔ながらのやさしい光の灯りなどがとても柔らかい雰囲気を醸し出し居心地良く過ごせる工夫がしてあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間には、たたみのコーナーがあり、昼寝をされたり、テレビを見たり出来るようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には、ご家族の写真や遺影などがあり思い出を大切にされた環境を心がけています。	居室にはベッド、タンス、洗面台が全てに設置してあります。また、ポータブルトイレが必要な人には提供しておられます。家族の写真、また、遺影なども置いてあり、利用者が思い出を大切にされるよう配慮されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレの場所など、利用者様の目線に合わせて、標識を作っています。また職員が、手を出しすぎず、目を離さずに危険がないように支援しています。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム さつき

作成日 平成 23年 1月 31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組み。	市職員の出席, 家族の出席。	声かけをしお願いをしていく方向。	今春予定
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。